

News Release

2018年4月26日
株式会社日立製作所

Penskeと日立、デジタル技術やIoT技術を活用し、 車両の稼働効率向上を実現する協創を開始

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、総合トランスポーターションサービス企業である Penske Corporation (Chairman and CEO: Roger S. Penske/以下、ペンスキー社)と、ペンスキー社の次世代データソリューションを構築する協創を開始しました。今回の協創では、日立のデジタル技術や IoT 技術を活用し、車両稼働効率の向上をめざします。

現在、デジタル化の進展にともない、さまざまな分野でデジタル技術や IoT 技術の活用が進められています。自動車分野においても活用が進められており、安全な運転、人員の最適配置、燃費向上、車両管理の改善をめざした取り組みが行われています。このような中、ペンスキー社と日立は、長きにわたりイノベーションの創出に取り組んできました。今回の協創は、デジタル技術や IoT 技術の活用による車両稼働効率のさらなる向上を目的に、両社の協創の取り組みをさらに発展させるものです。

ペンスキー社と日立オートモティブシステムズ株式会社をはじめとする日立グループは、2012年より米国インディカー・シリーズ®において「Team Penske」のスポンサー契約を締結し、本スポンサーシップに基づくパートナーシップを構築してきました。また、両社は、ペンスキー社のデジタルトランスフォーメーションの実現に向け、広範な事業領域における連携を進めてきました。2017年からは、ペンスキー社が保有する車両データを活用し、車両の稼働効率向上をめざす活動を進めています。ペンスキー社と日立は、今後も、人工知能(AI)などのデジタル技術や日立の IoT プラットフォーム Lumada を活用した、様々な協創活動を進めていきます。

■株式会社日立製作所 執行役社長兼 CEO 東原 敏昭のコメント

「このたび、総合トランスポーターションサービスのグローバルカンパニーであるペンスキー社との協創を大きく前進させることができ、大変光栄です。日立は、輸送・物流分野を注力分野のひとつとして、社会イノベーション事業の展開を加速しています。ペンスキー社との協創を通じ、ペンスキー社の輸送・物流分野における広範な知見と、日立がこれまで蓄積してきた OT(Operational Technology)と IT を融合させることで、フリートマネジメント分野における劇的なイノベーションを創出できることを期待しています。」

■ペンスキー社 創業者・会長 ロジャー・ペンスキーのコメント

「ペンスキー社と日立は、2012年以降、インディカー・プログラムにおいて協力関係を構築しており、これまで、通算 38 回の勝利と 3 回の優勝を成し遂げています。ペンスキー社は、大切なパートナーである日立との協力関係をさらに発展させ、今回の協創の取り組みを開始できることを大変嬉しく思います。日立が提供するソリューションを通じ、我々の車両データを革新的に活用することにより、ペンスキー社はお客様のニーズに応えていきます。」

■Penske 社の概要

ペンスキー社は、乗用車販売・トラックリース・ロジスティックス・モータースポーツなどの領域で売上 260 億ドル・世界 3,300 拠点・従業員 50,000 名以上を誇る総合トランスポーテーションサービス企業です。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
